



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年8月7日
福

上場会社名 株式会社Misumi 上場取引所
 コード番号 7441 URL <https://kk-misumi.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 平田 慶介
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役サポート本部長 (氏名) 今林 俊人 (TEL) 099-260-2213
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績(2026年4月1日～2026年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期第1四半期	15,352	5.2	307	424.5	446	167.1	274	177.6
2026年3月期第1四半期	14,586	1.3	58	—	167	113.2	98	△48.8

(注) 包括利益 2027年3月期第1四半期 277百万円(60.2%) 2026年3月期第1四半期 173百万円(△11.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	48.28	—
2026年3月期第1四半期	17.32	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年3月期第1四半期	44,068	21,775	48.7
2026年3月期	43,458	21,654	49.1

(参考) 自己資本 2027年3月期第1四半期 21,465百万円 2026年3月期 21,342百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	25.00	—	25.00	50.00
2027年3月期	—	—	—	—	—
2027年3月期(予想)	—	25.00	—	25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2027年3月期の連結業績予想(2026年4月1日～2027年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	31,409	8.9	154	26.7	370	19.4	215	26.2	37.86
通期	66,437	10.7	1,054	9.9	1,501	7.2	881	4.9	155.13

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2027年3月期1Q	6,100,503株	2026年3月期	6,100,503株
② 期末自己株式数	2027年3月期1Q	426,969株	2026年3月期	418,769株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2027年3月期1Q	5,678,369株	2026年3月期1Q	5,702,234株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項
(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、雇用・所得環境に改善の動きがみられるなか、景気は緩やかな回復基調で推移しました。一方で、中東情勢の緊迫化に伴う原油をはじめとする資源価格の高騰や金融資本市場の変動など、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような状況の中で当社グループは、「既存事業の強化」と「新規事業の開拓」を両輪とした経営戦略を推進しております。「既存事業の強化」では、主力のエネルギー事業において、法人顧客の新規開拓及び既存顧客に対する営業活動を拡充し、燃料油・L Pガスの販売シェア拡大に努めております。また、その他の事業においても、営業力の底上げや接客・サービスの更なる向上を目的に、社内研修を充実させ、お客様との関係性や信頼性の構築に努めております。一方、「新規事業の開拓」では、新業態として「韓井」「駿河屋」「業務レンタカー」「ステップゴルフ」事業への新規参入を行うなど、多様化する消費者ニーズに対応した店づくりに取り組んでおります。

以上の結果、当社グループの主力事業であるエネルギー部門において、L Pガスの販売価格が前期に比べ上昇したこと等により、当第1四半期連結累計期間の売上高は153億52百万円（前年同四半期比5.2%増）となり、経常利益は4億46百万円（前年同四半期比167.1%増）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は2億74百万円（前年同四半期比177.6%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

1 エネルギー

「エネルギー」セグメントの石油部門では、採算販売を重視した営業活動に加え、S S事業において、販促ツールを活用した顧客の固定化施策による燃料油の売上確保に努めました。また定期的な研修会を実施することで、従業員の営業力の底上げを図り、油外商材の販売拡大と顧客満足度の向上に取り組みました。

ガス部門では、新規顧客の開拓や燃料転換ニーズの取り込みに向けた営業活動を積極的に推進するとともに、採算性を重視した販売に注力し、利益の確保に努めました。また、補助金制度等を活用した住宅設備機器の提案・販売を強化し、収益基盤の安定化を図りました。

以上の結果、L Pガスの販売価格が前期に比べ上昇したこと等により、売上高は117億23百万円（前年同四半期比6.0%増）となりました。利益面では、適正な販売価格の確保に努めたことに加え、在庫評価の影響もあり、セグメント利益（営業利益）は4億16百万円（前年同四半期比158.5%増）となりました。

2 ライフスタイル

「ライフスタイル」セグメントのカルチャー部門では、話題作コミックや本屋大賞関連商品の拡販を図るとともに、季節商材やトレンドアイテムの展開を強化することで、顧客の多様なニーズに対応した売り場づくりに注力しました。また、新規事業として、インドアゴルフスクールの「ステップゴルフ」事業へ参入し、鹿児島市のオプシアミスミ内にステップゴルフプラス宇宿店を2026年6月にオープンいたしました。

オプシアミスミでは、S N S等を活用したデジタル広告の強化に加え、クーポン配布などの懸賞企画やステージイベントの開催により来店動機を促すことで、集客力の向上に努めました。

しかしながら、建設部門において大型工事の受注件数が前期に比べ減少したこと等により、売上高は17億40百万円（前年同四半期比5.2%減）となり、セグメント利益（営業利益）は5百万円（前年同四半期比89.8%減）となりました。

3 フード&ビバレッジ

「フード&ビバレッジ」セグメントの外食部門では、主力業態であるK F Cにおいて、店舗イメージの刷新を目的とした店舗改装を進めるとともに、ロス削減によるフードコスト管理を徹底し、利益改善に努めました。また、新規出店先として2026年4月に熊本県人吉市にビザハット人吉店をオープンいたしました。

以上の結果、売上高は18億88百万円（前年同四半期比11.9%増）となり、セグメント利益（営業利益）は1億11百万円（前年同四半期比67.0%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間の総資産は、前連結会計年度末に比べて6億10百万円増加し、440億68百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が減少する一方、現金及び預金が増加したこと等によるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べて4億88百万円増加し、222億92百万円となりました。これは主に、買掛金や未払金が減少する一方、借入金が増加したこと等によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べて1億21百万円増加し、217億75百万円となりました。これは主に、利益剰余金が増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想は、2026年5月13日発表から変更ありません。また、2026年7月28日に発生いたしました令和8年熊本地震による業績への影響につきましては、現在調査中ではありますが、業績に重大な影響が見込まれる場合には、速やかにお知らせいたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,613	5,523
受取手形及び売掛金	5,921	5,210
商品及び製品	3,198	3,338
仕掛品	4	7
原材料及び貯蔵品	22	64
その他	693	930
貸倒引当金	△3	△3
流動資産合計	14,450	15,070
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,875	5,833
土地	12,504	12,504
その他（純額）	1,587	1,591
有形固定資産合計	19,967	19,929
無形固定資産		
のれん	893	878
その他	100	101
無形固定資産合計	994	979
投資その他の資産		
その他	8,156	8,208
貸倒引当金	△110	△120
投資その他の資産合計	8,046	8,088
固定資産合計	29,007	28,997
資産合計	43,458	44,068
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,812	2,425
短期借入金	4,910	4,945
1年内返済予定の長期借入金	3,773	4,002
未払法人税等	383	208
賞与引当金	350	538
その他	1,478	1,124
流動負債合計	13,707	13,245
固定負債		
長期借入金	5,610	6,590
役員退職慰労引当金	230	235
その他	2,254	2,221
固定負債合計	8,095	9,047
負債合計	21,803	22,292

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,690	1,690
資本剰余金	1,646	1,646
利益剰余金	15,965	16,097
自己株式	△740	△754
株主資本合計	18,562	18,680
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,691	2,705
退職給付に係る調整累計額	88	80
その他の包括利益累計額合計	2,780	2,785
非支配株主持分	311	309
純資産合計	21,654	21,775
負債純資産合計	43,458	44,068

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	14,586	15,352
売上原価	11,486	11,806
売上総利益	3,100	3,546
販売費及び一般管理費	3,041	3,238
営業利益	58	307
営業外収益		
受取利息	4	5
受取配当金	34	48
受取賃貸料	57	60
その他	70	84
営業外収益合計	166	199
営業外費用		
支払利息	36	49
賃貸費用	10	9
固定資産除却損	7	1
その他	4	0
営業外費用合計	58	61
経常利益	167	446
特別利益		
固定資産売却益	1	1
特別利益合計	1	1
特別損失		
投資有価証券評価損	—	9
特別損失合計	—	9
税金等調整前四半期純利益	168	438
法人税、住民税及び事業税	93	192
法人税等調整額	△27	△25
法人税等合計	66	166
四半期純利益	102	272
非支配株主に帰属する四半期純利益 又は非支配株主に帰属する四半期純損失 (△)	3	△2
親会社株主に帰属する四半期純利益	98	274

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期純利益	102	272
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	86	14
退職給付に係る調整額	△15	△8
その他の包括利益合計	71	5
四半期包括利益	173	277
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	170	279
非支配株主に係る四半期包括利益	3	△2

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

記載すべき事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	エネルギー	ライフ スタイル	フード& ビバレッジ	計		
売上高						
外部顧客への売上高	11,063	1,835	1,687	14,586	—	14,586
セグメント間の内部 売上高又は振替高	15	19	—	34	△34	—
計	11,078	1,855	1,687	14,621	△34	14,586
セグメント利益	161	56	66	284	△226	58

(注) 1 セグメント利益の調整額△226百万円には、セグメント間取引消去0百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△226百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	エネルギー	ライフ スタイル	フード& ビバレッジ	計		
売上高						
外部顧客への売上高	11,723	1,740	1,888	15,352	—	15,352
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3	16	—	20	△20	—
計	11,727	1,756	1,888	15,373	△20	15,352
セグメント利益	416	5	111	533	△226	307

(注) 1 セグメント利益の調整額△226百万円には、セグメント間取引消去0百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△226百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期連結累計期間(自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	194百万円	211百万円
のれんの償却額	43 〃	43 〃